

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



タンチョウ
画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 芹沢 芳郎
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387

熱中症予防は「自己責任」か?

大阪民医連が熱中症予防のために調査

7年目迎えた熱中症調査

民医連参加の事業所の外来・在宅・デイケア等を利用の65歳以上の高齢者で、熱中症の危険性の高い独居あるいは老夫婦を中心に570名を午後2～3時に訪問調査を実施。熱中症予防対策・安否確認も含め、例年猛暑日が続く7月26日から2週間を中心に取り組みました。

クーラーなしが94%

調査結果は、クーラーのない方が85件15%おられ、クーラーがあっても98件20%の方が2時間未満の使用で、「嫌い」「電気が高くなる」や認知症などで判断能力低下や操作方法が不明など、ほとんど使用しない方も少なくありません。

クーラーのない世帯は独居60世帯、老夫婦9世帯という状況で、経済状況も住民税非課税14世帯、生活保護44世帯と低所得層が多くおられました。クーラーが故障中の方も少なくありません。室温は30℃以上が381件68%で、クーラーがないお宅は94%

%です。最高の室温は外気温より1～2℃高いところがあり、多くの高齢者が高温環境で暮らしておられます。隣家の室外機からの熱風が窓から入るなどで窓や入口を閉め切っているお宅もあり、当面の改善にはクーラーの適切な使用が必要です。また認知症や介護度の高い方もおられますから、水分摂取の管理も含めて見守りが重要です。

大災害をもたらした今年の猛暑

2010年夏、北半球の中緯度は広範囲に記録的な猛暑に見舞われました。ヨーロッパでは7月はじめから高温となり、ベルリンで37℃、モスクワ38℃など平年を14ないし16℃も上回る温度を観測しました。一方、南米の大寒波、パキスタンの洪水など極端な事象が頻発しました。

日本でも梅雨明けと一緒に列島は猛暑に包まれました。そして6～8月の平均気温は平年値を2～2℃上回り、気象庁が統計を取り始めた1898年以降で最高となりました。この中でも大阪は他の大都市に比べても

個人的対策の限界

今回の調査では、テレビや新聞等で熱中症の怖さと対策などが報じられ、クーラー設置やアイソノンの常備、水分を意識的に摂取等、個人的に予防対策を



西成での調査

とられている方が多くおられました。経済面、健康状態、家族構成、住環境も含めて、個人的に対策できない方も多くおられ『自己責任』では済まされない問題を再認識することになりました。

(大阪民医連事務局 小谷朋)

大変暑い街です。

このため全国で500人を超える人が熱中症で亡くなったと推定されています。犠牲者数が「第二室戸台風」や「中越地震」を超える大惨事といわねばなりません。農作物などへの影響も深刻です。

気象庁では、9月に異常気象検討会を開き、この猛暑の背景について解析を行い、ラ・ニニャ現象、偏西風の蛇行などの要因を挙げていますが、同時に二酸化炭素など温室効果ガス濃度の増大による「地球温暖化」が背景となっていることを認めています。

今後、こうした気象災害が世界的規模で発生することは十分予想されます。(岩本智之)

2010年7月1日～9月10日、全国主要都市の気温

都 市	日 数				気 温		
	日平均 気温≥30℃	日最高 気温≥35℃	日最高 気温≥30℃	日最低 気温≥25℃	平均	最高	最低
札幌	0	0	17	0	23.5	27.5	20.4
仙台	0	2	40	10	26.2	30.5	23.2
東京	18	13	60	54	28.8	32.7	26.0
名古屋	17	21	52	38	28.6	33.2	25.3
京都	28	29	53	34	28.8	33.8	25.1
大阪	36	29	64	50	29.3	33.8	26.1
福岡	26	24	61	47	29.0	33.3	25.9
那覇	0	0	55	56	28.8	31.4	26.6

太字は第1位